

## 第 2 回

### 新埼玉県立図書館基本構想検討専門家会議

**日 時**：令和4年10月31日（月） 午後3時00分～5時00分

**場 所**：埼玉会館5C会議室及びZoomによるオンライン開催



# 次 第



## 1 開 会

## 2 挨拶（市町村支援部副部長）

## 3 議事

### （1）新たな時代の埼玉県立図書館の機能

- ・ 検討テーマ① 「資料・サービスの提供と県内全体の図書館振興」
- ・ 検討テーマ② 「対話・交流・創造の促進」

### （2）その他

## 4 閉 会

# 配布資料

資料No.	資料名
資料1	令和2年度及び令和3年度の検討
資料2	埼玉県立図書館の現状
資料3	社会状況の変化
資料4	県民とともにつくる新県立図書館ワークショップ
資料5	新たな時代の埼玉県立図書館の機能
参考1-1	新埼玉県立図書館基本構想検討専門家会議設置要綱
参考1-2	新埼玉県立図書館基本構想検討専門家会議名簿



## 新県立図書館在り方検討委員会 報告書(R2)

### ○ 目指すべき県立図書館の在り方

「情報」と「人」が交流し、価値を創造する図書館 = 「価値創造型図書館」

### ○ 新しい県立図書館の特色と主な取組

《誰一人取り残さずに情報を提供する図書館》

- ◆資料のデジタル化や提供方法、物流システムの充実
- ◆県民の財産を未来に引き継ぐ

《情報・交流・創造の拠点としての図書館》

- ◆人々が集い、交流し、互いを高めあい、新しい価値を創造する場の提供
- ◆創造された価値を社会につなげる取組

《ICTを徹底活用した県民一人ひとりのための図書館》

- ◆ICTを活用した遠隔サービス
- ◆対面・オンラインを併用した図書館サービス

## 新しいタイプの図書館検討有識者会議 議論のまとめ(R3)

### ○ ミッション：県民とともに社会をつくる

#### ① デジタルで豊かな社会をつくる

- ・デジタル技術を活用した情報の提供
- ・県立図書館を中核とした地域デジタル情報ネットワークの形成
- ・県民の情報リテラシーの醸成

#### ② 新たな価値を生み出す社会をつくる

- ・県民の生涯学習の推進
- ・県民の対話と協働を促進し、新たな価値を創造する知的活動の支援
- ・県民の創造的な社会参画を生み出す拠点

#### ③ 誰一人取り残さない社会をつくる

- ・全ての県民への情報提供
- ・モデル的サービスを実施し、市町村図書館の活動の充実の促進
- ・蓄積してきた情報の適切な保存と継承

### ○ 目指すべき図書館像

- プラットフォーム ライブラリ  
(多様性を包摂した、デジタルネットワーク上における県内全域の情報拠点)
- エンパワーメント ライブラリ  
(創造的な社会参画を生み出す拠点)
- リーディング ライブラリ  
(県内図書館ネットワークの中核として、時代の要請に応じたサービスを展開)



## 他の都道府県と比較した埼玉県立図書館及び埼玉県の特徴

- 専任の司書数が全国で 2 位
- 県蔵書冊数は約160万冊（全国 3 位）、県内図書館の蔵書総数は約2,500万冊（全国 3 位）
- 市町村の図書館設置率は 9 割超（全国 1 1 位）、図書館数は178館（全国2位）

	埼玉県（人口739万人 5位）	千葉県（人口632万人 6位）	神奈川県（人口921万人 2位）	愛知県（757万人 4位）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■熊谷 延床面積：3,580㎡</li> <li>■久喜 延床面積：4,059㎡</li> <li>■2館延床面積（外部書庫含む）：10,303㎡（23位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中央 延床面積：6,171㎡</li> <li>■西部 延床面積：3,262㎡</li> <li>■東部 延床面積：3,591㎡</li> <li>■3館延床面積：13,024㎡（14位）</li> <li>※1館体制とする計画あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県立 延床面積：12,136㎡</li> <li>■川崎 延床面積：2,491㎡</li> <li>■2館延床面積：14,621㎡（11位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1館体制</li> <li>■延床面積：19,604㎡（5位）</li> </ul>
職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専任職員 71人（専任司書 55人）（2位（専任司書数 2位））</li> <li>※臨時的任用職員を含めず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専任職員 63人（専任司書 37人）（5位（専任司書数 5位））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専任職員 67人（専任司書 50人）（4位（専任司書数 4位））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専任職員 39人（専任司書33人）（9位（専任司書数 6位））</li> </ul>
蔵書冊数	■159万冊（3位）	■143万冊（6位）	■120万冊（13位）	■118万冊（14位）
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入館者数 158,079人</li> <li>■貸出数 175,621点（31位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入館者数 152,795人</li> <li>■貸出数 115,671点（39位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入館者数 75,040人</li> <li>■貸出数 109,970点（41位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入館者数 341,146人</li> <li>■貸出数 345,107点（16位）</li> </ul>
県内の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館設置率 93.7%（11位）</li> <li>■図書館数 178館（2位）<small>※埼玉の公立図書館</small></li> <li>■蔵書総冊数 2,449万冊（3位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館設置率 74.1%（32位）</li> <li>■図書館数 144館（5位）</li> <li>■蔵書総冊数 2,035万冊（5位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館設置率 87.9%（20位）</li> <li>■図書館数 85館（12位）</li> <li>■蔵書総冊数 1,801万冊（7位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館設置率 88.9%（16位）</li> <li>■図書館数 97館（9位）</li> <li>■蔵書総冊数 2,286万冊（4位）</li> </ul>

データ出所：『日本の図書館2021』、文部科学省「社会教育統計」及び各館要覧より 「蔵書」は所蔵する図書（雑誌、視聴覚資料等、録音図書、電子的資料は含まない）



## 主な所蔵資料数と分担収集

- 2館で分野別に保管
- 主に専門性の高い資料を収集し、市町村立図書館と連携しながら、域内の多様な「知りたい」に対応

### 主な所蔵資料数

区分	熊谷図書館	久喜図書館	2館合計			
			受入	払出(除籍)		
図書 (冊)	一般・児童	757,364	559,689	1,317,053	15,380	28,097
	地域・行政	221,293	39,565	260,858	3,902	221
	合計	<b>978,657</b>	<b>599,254</b>	<b>1,577,911</b>	<b>19,282</b>	<b>28,318</b>
新聞・雑誌等 (タイトル・リール)	新聞	119	38	157	—	—
	雑誌	2,061	719	2,780	—	—
	マイクロフィルム	11,040	3,466	14,506	—	—
電子媒体(点)	781	547	1,328	11	1	
視聴覚資料(タイトル・点)	45,442	10,947	56,389	—	—	
障害者サービス用資料(タイトル)	—	6,578	6,578	—	—	

### 資料の分担収集と機能

#### 熊谷図書館

- 人文科学、社会科学、産業分野
- ビジネス支援、地域・行政資料、海外（外国語）資料及び視聴覚資料サービスの主担当館
- 県内市町村立図書館等との物流の中心

#### 久喜図書館

- 自然科学、技術、芸術、言語、文学分野
- 健康・医療情報、児童資料、子供読書支援及び障害者サービスの主担当館

※ 令和3年度末



## 主なサービス

- 専門性の高い資料の収集とこれを駆使したレファレンスや課題解決支援サービスを展開
- 資料の搬送や人材育成などを通じた域内支援も実施
- この他、デジタルライブラリーの公開、情報の探しかた講座などにより資料・情報の活用を促進

### 専門性の高い図書・資料の収集・提供

- 調査研究用図書・学術書や、埼玉県の地域・行政資料など専門性の高い資料を収集・提供
  - マルチメディアデジター（音声と同時に文字・画像等が表示される図書）や外国語資料等の多様性に対応した資料も提供
- 《参考》 令和3年度 オンライン資料※の収集を開始  
 ※インターネット等の通信システムによって公開されている図書等に相当する資料

### 専門的な資料を駆使したレファレンス（調査・相談）

- レファレンスは質・量ともに全国トップレベル
  - 市町村立図書館だけでは解決の難しいレファレンスをサポート
- 《参考》
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」へ埼玉県立図書館が提供したレファレンス事例に対するアクセス件数は14年連続日本一
  - ・県内公共図書館からの調査依頼に応じることを目的とした「埼玉県立図書館・図書館協業レファレンス掲示板」を運用

### 専門図書館的な機能による課題解決支援

- ビジネス支援サービス（経営・起業・就労等）
- 健康・医療情報サービス（がん、認知症等）
- 障害者サービス（障害があっても利用しやすい資料の製作・提供）
- 海外資料サービス（外国語資料の提供等の多文化サービス）
- 子ども読書支援センター（ボランティアや学校図書館支援）

### 市町村立図書館等への支援 ～県内図書館ネットワークの中核～

- 令和3年度は他の図書館等に対して約88万点の資料を送配
  - 県内の司書の人材育成・運営相談も行う
- 《参考》
- ・横断検索システム（県内60公共図書館・2大学・その他7機関）の構築・維持管理
  - ・各市町村立図書館を概ね週1回の頻度で資料搬送車で巡回
  - ・県内市町村図書館の職員向け研修を実施

# 社会状況の変化

## ○人生100年時代の到来

- 「全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要」がある

<出典>「人づくり革命基本構想」人生100年時代構想会議 H30.6

## ○SDGsの推進

- SDGsの目標は図書館の取組と密接に関連

### 《参考》SDGsの17目標と図書館の貢献例（抜粋）

SDGsの目標例	図書館の貢献例（IFLA）
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>	<p>図書館は教育機関で重要な役割を担う。リテラシー教育を支え、学習空間を提供し、調査研究を支える。生涯学習を促進する機能も有す。</p>
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>	<p>一般市民等の主要な情報入手先として図書館は重要な役割を担う。情報を十分に利活用できるよう、信頼性の高い情報源を揃え、習熟した職員が支援を行う。</p>

<出典>「国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)と図書館」(塩崎亮,聖学院大学総合研究所Newsletter vol.28 No.2,2018)

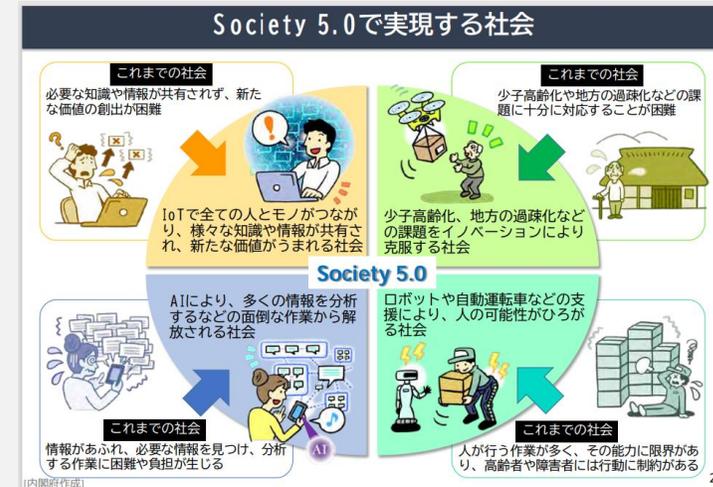
## ○社会のデジタル化の進展

- 日本のモバイルブロードバンド普及率は世界第1位  
モバイル端末の世帯保有率も高く、デジタル機器が便利なツールから生活の基盤となっている

## ○価値創造型社会の進展

- 複雑化する課題に対するためには、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが重要

### 《参考》Society4.0からSociety5.0へ



<出典>内閣府 [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



## ■ 概要

### ◆ 趣旨

新しい県立図書館にふさわしい機能・サービスを  
県民とともに考える機会としてワークショップを開催

### ◆ 開催日 & 参加人数

開催：R4.8.20 / R4.9.10 / R4.9.28 / R4.10.15

参加：延べ43人

## ■ 主な意見

### <資料の収集・図書館サービス>

#### ◆ 埼玉県のこと何でもわかる図書館

- ・ 地域、歴史、文化、産業等、埼玉のすべて
- ・ デジタルアーカイブの充実  
(埼玉の魅力を世界に発信)

#### ◆ 誰一人取り残さない図書館

- ・ 県民の多様性に配慮した資料を整備  
(例：外国語教科書の充実 母語で学べる教科書)

#### ◆ デジタル技術を活用した図書館

- ・ デジタル技術で図書館利用の制約を緩和
- ・ いつでも質問に答えてくれる(スマホで解決)
- ・ バーチャル図書館

### <県域全体の進展>

#### ◆ 市町村立図書館のモデルとなる図書館

- ・ 市町村立図書館等と連携した事業の展開  
(小中学校図書館・NPO等との連携)

### <対話・交流・創造の場>

#### ◆ 埼玉県のコミュニティの拠点となる図書館

- ・ 生活圏域を超えた埼玉のコミュニティ
- ・ リアル、デジタル、ハイブリッドに交流
- ・ 得た情報を他者と交流・議論 (アウトプット)  
することができる図書館
- ・ 資料を見つけた「あと」の支援の充実
- ・ 県立図書館が交流・創造の成果を保存・提供



## 検討テーマ①

### 資料・サービスの提供と県内全体の図書館振興

- ◆ 県立図書館として提供すべき資料・サービス
- ◆ 埼玉県の多彩な文化・情報資源の集約と発信
- ◆ 県内全体の図書館の振興を図るため、県立図書館が担うべき機能・サービス
- ◆ 国立国会図書館や市町村立図書館とのパートナーシップの在り方

## 検討テーマ②

### 対話・交流・創造の促進

- ◆ 県民が対話・交流するために必要な県立図書館の機能・サービス



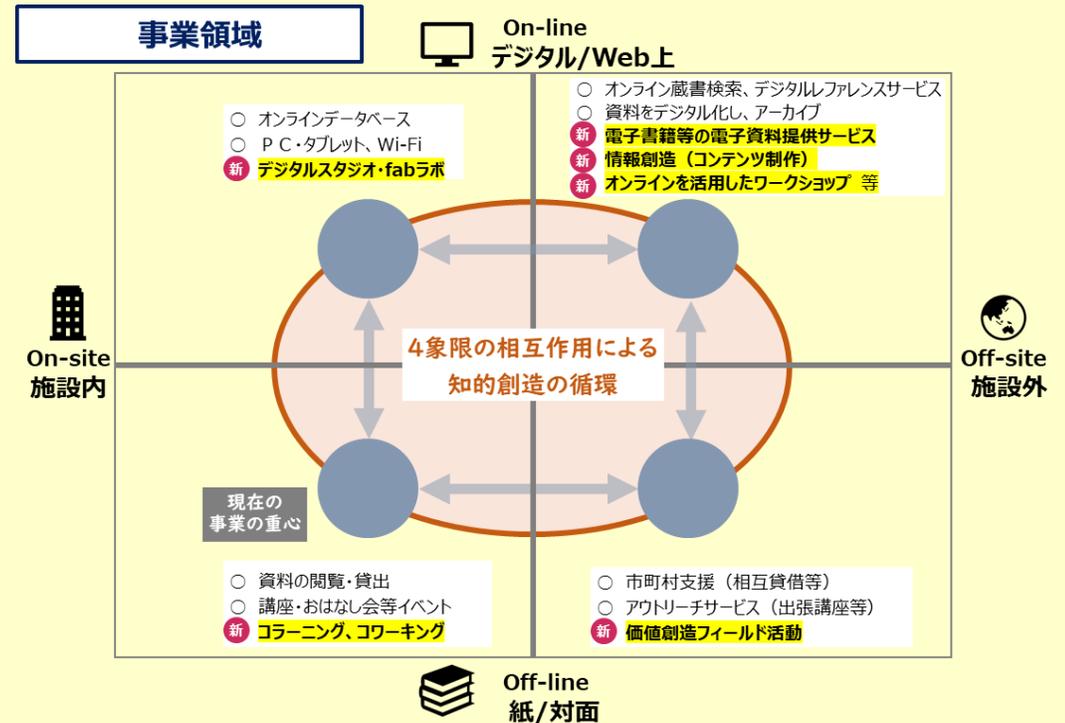
## ■ 検討テーマ① 資料・サービスの提供と県内全体の図書館振興

- ◆ 県立図書館として提供すべき資料・サービス
- ◆ 埼玉県の多彩な文化・情報資源の集約と発信

### サービス例

- 県民の多様性に配慮した資料の収集、電子書籍などの非来館型サービスの充実
- 地域デジタルアーカイブの充実、博物館等と連携したデジタル情報の集約と発信

### <参考 R3議論のまとめより>



Off-line  
紙/対面



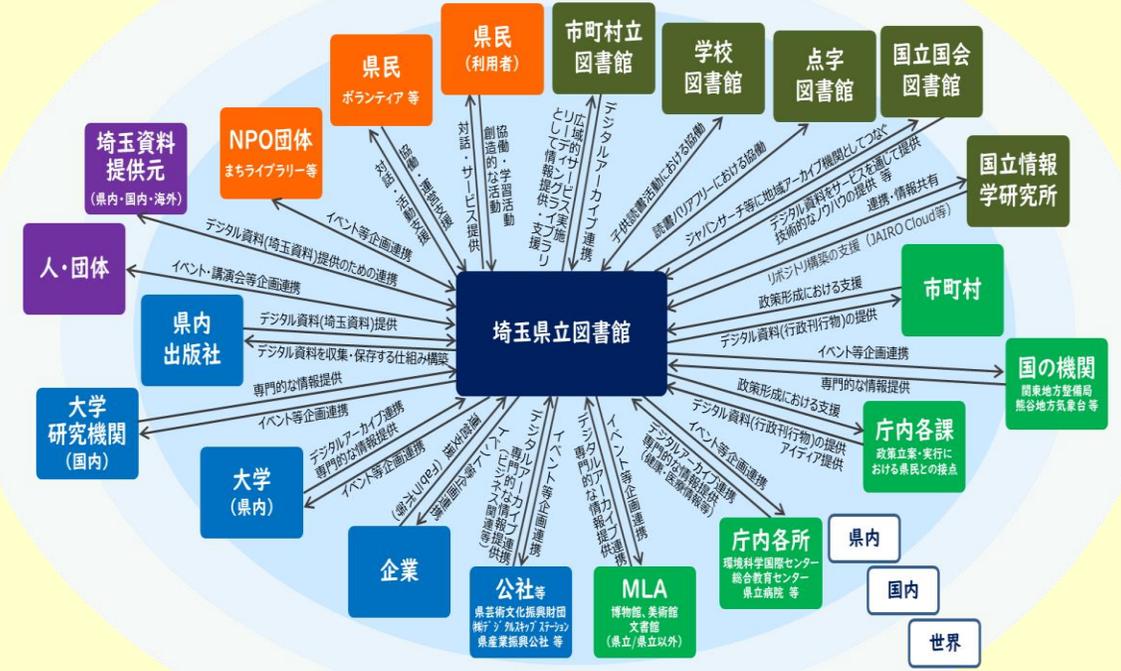
## ■ 検討テーマ① 資料・サービスの提供と県内全体の図書館振興

- ◆ 県内全体の図書館の振興を図るため、県立図書館が担うべき機能・サービス
- ◆ 国立国会図書館や市町村立図書館とのパートナーシップの在り方

### サービス例

- 市町村での展開が期待される事業を実施し、ノウハウを提供
- 市町村立図書館への相互貸借におけるロボットやデジタル技術を活用した効率的でスピーディーな資料の搬送
- 精度の高い調査・相談サービスを提供する司書の育成

<参考 R3議論のまとめより>





## ■ 検討テーマ② 対話・交流・創造の促進

### ◆ 県民が対話・交流するために必要な県立図書館の機能・サービス

#### サービス例

- より複雑で広域的なテーマについて議論する機会や情報の提供
- 県民の活動成果（研究論文、デザイン、教材等）を県立図書館が収集・保存・提供

<参考 R3議論のまとめより>

県民が新しい価値を生み出すための接点やきっかけとなる県立図書館

